

2月19日 ここ3年間は2月が強い！

今の株式市場を巡る問題をちょっと整理しましょう。

- ① ECB 金融緩和問題
- ② 原油価格の下落継続
- ③ 米国の景気
- ④ イスラム国問題
- ⑤ ギリシャ問題
- ⑥ 中国景気の停滞

しかし、今、これらの問題のうち、徐々に問題が解決に向かっているものが増えてきました。

まず、①の ECB 金融緩和は、ECB ドラキ総裁やドイツのメルケルさんの努力で、なんとか緩和策を実現させましたね。

異次元緩和仲間の黒田日銀総裁は、「よくやった」と上から目線で褒めていましたけど。

次に②の原油価格。原油先物 WTI は、45 ドルを一時割りましたが、ひとまず 52 ドルまで回復してきました。

とりあえず、一方的な下落が収まったことが、安心感を呼んでいます。

そして③に関連して、前週の雇用統計。米国の時間当たり賃金がプラスに転じました。雇用者数が増えているのに賃金がマイナス、というこのデフレ経済の不気味さが、前回の雇用統計後の株価下落につながっていたのですが、今回は、一応でもプラスですからね。

あとは④、⑤、⑥！

人質事件の展開から、イスラム国への空爆が激化し、シリア問題の展開は進みそうです。ただ、結末はまだ当分見えないでしょう。

それとギリシャ問題は、難しくなっています。総選挙で、わけがわからない政権が成立し、ECB と決裂する雰囲気、ちょっと波乱要因になりそうですね。中国は旧正月が今月 18 日から 24 日頃までなので、その後、なにか動きがある可能性があります。

今の状況を整理すると、こんな状況ですが、なんとか大きな問題には解決の目処がたちつつあります。しかもここ3年間は、2月が強い（日経平均の平均上昇率は4.58%。11月12月に次いで強い月）、という実績もあるので、楽しみにしましょう！